

平成20年9月12日
住友生命保険相互会社

スミセイeco活動 ～人感センサーなどの省エネ設備を東京本社（築地）に設置～

住友生命保険相互会社(社長 佐藤 義雄)は、更なるCO2削減のため、平成20年度中に東京本社ビル内における照明器具をより省エネ効率の高いHfタイプに更新するとともに、「人感センサーによるオフィス内照明の自動消灯システム」を導入いたします。本対応は、当社ステークホルダーの一つである「地球環境」に対する具体的行動の指針「スミセイ環境方針」に基づき、平成20年度全社環境啓発「スミセイeco活動」の一環として実施するものであります。当社は、国民的プロジェクトである「チーム・マイナス6%」への参加や石垣島・フィジーのサンゴ礁保全プロジェクト等、今後も地球環境保護への社会的責任を積極的に果たしてまいります。

1. 事務所内での人感センサー設置

通常、センサーあるいはタイマーによる照明の自動消灯システムは、トイレや通路といったオフィスのバックヤードで行うのが一般的ですが、当社では東京本社ビルの事務室・トイレ全フロアに導入(平成20年度中に完了予定)することで大幅なCO2削減を目指します。

なお、東京本社ビルでは、NEDO^{*1}による補助事業にて平成19年度には「空調等ビル設備のエネルギー制御の最適化を図るビル管理システム(BEMS)」を導入するとともに、「高効率な熱源設備^{*2}(冷温水発生器)への更新」や「女性用トイレへの擬音装置の設置による水道使用量の削減」といった取り組みを既に実施しています。

今後実施予定の改修工事も含めて平成21年度末までに基準年度比^{*3}でCO2の約20%削減を目指してまいります。(森林面積 約55万m²が1年間に吸収するCO2相当の削減効果)

2. 全社環境啓発「スミセイeco活動」

- a. 紙使用量削減:本社全体で平成19年度対比20%削減(※お客さま向け使用分を除く)
- b. 電気使用量削減:今回の対応に加え、6月から9月末まで夏季クールビズ運営を平成17年度より継続実施。
- c. スミセイ・ヒューマニー活動:各所属で「環境をテーマにしたボランティア活動」を展開
例)竹林保全活動「竹の環プロジェクト」
- d. 出張の削減:特に頻度が高い「東京から大阪間」の出張をTNS(テレビネットワークシステム)会議や電話会議へ積極的に代替。

*1 NEDO=独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構。ビルにおけるエネルギー消費量の最適化を図るBEMSの普及促進のため、同機構にてエネルギー消費効率、費用対効果、先進性、普及性について厳正な評価・審査を行い、補助金交付事業を決定している。

*2 熱源設備(冷温水発生器)=冷暖房機器を動かすのために使用する冷水および温水を作り出す装置。

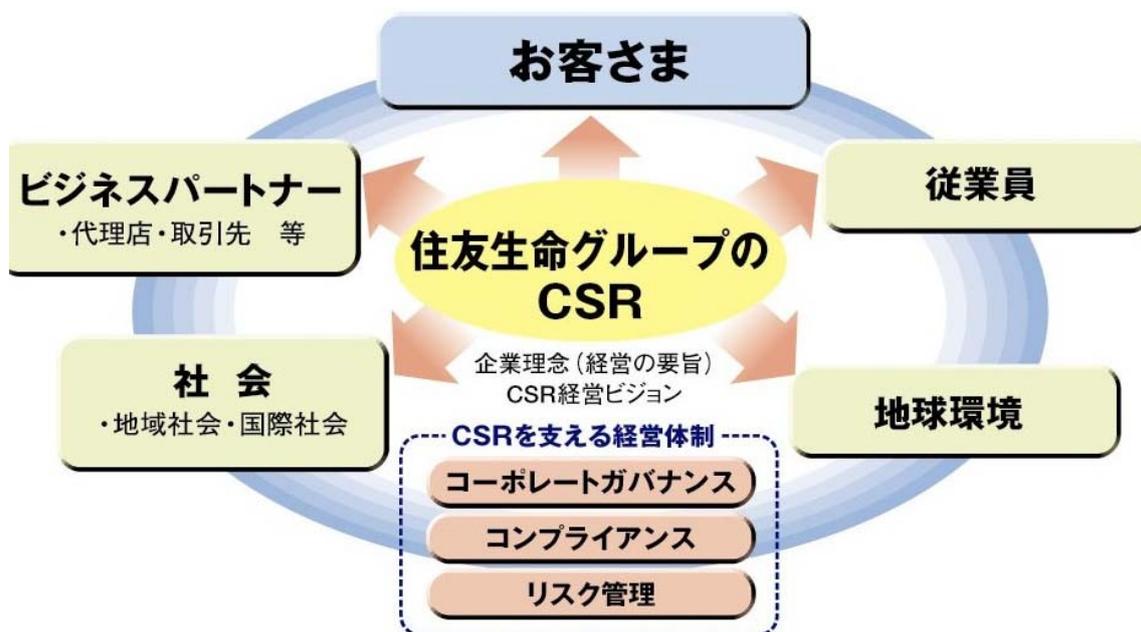
*3 基準年度 = 平成14年度～16年度実績の平均値。

(ご参考)

当社CSR経営ビジョン(前文)

住友生命は保険事業の健全な運営とその発展を通じて、豊かで明るい長寿社会の実現に貢献します。この理念のもと、誠実な業務遂行・健全な財務基盤を通じ、お客さまをはじめとした各ステークホルダーに最も信頼・支持され、持続的・安定的に成長する会社を目指します。

*上記条文中、当社の目指す理想の会社像を明確にした上で、【お客さま】【ビジネスパートナー】【従業員】【社会】【地球環境】という当社のステークホルダーに信頼・支持される会社となるため、各々の満足度を高めるための方針、いわば各ステークホルダーにとっての理想の会社像を定めています。



スミセイ環境方針【平成18年3月制定】

住友生命は地球環境の維持・保全が「豊かで明るい長寿社会の実現」に必要不可欠であると考えています。当社事業の公共性や社会への責任を踏まえ「健康な暮らしを支えるため、事業活動において常に地球環境への影響に配慮し、その保護に積極的に取り組む」ことをCSR経営ビジョンに定め、日々の活動において以下の方針に従い、着実かつ持続可能な地球環境保護活動へ取り組みます。

1. 地球環境保護の大切さ、および事業活動の環境への負荷を十分に認識し、事業活動を通じた地球環境保護を推進します。
2. オフィスの省エネルギー・省資源、廃棄物のリサイクル、ならびに消耗品・什器・備品等のグリーン購入を推進します。
3. 役職員一人ひとりの環境啓発に努め、その地球環境保護活動を支援するとともに、環境面での社会貢献に積極的に取り組みます。